アドバイザーリスト（公開用）

	氏名	所属・職名	実績等	主な支援内容
1	大倉　一真	一般社団法人パーソナルサービス支援機構 代表理事	県内3か所にフリースクール・居場所（鹿屋市「みんなの家ふらっと」、錦江町「みんなの居場所よろっで」、肝付町「不登校支援室きらっと」）を開設し、継続的な運営を通じて豊富な経験と知見を蓄積している。これらの運営に加え、自殺対策事業など、県内自治体から公益事業を受託している。また、教育機関をはじめとする公的機関において、支援者等のスキルアップを目的とした研修や講演を行っている。	・スタートアップの資金調達や持続可能な運営に関する助言・伴走支援。 ・従事者のスキルアップに関する助言及び研修講師。
2	東　勝彦	桜心学院 学院長	学校の学習内容に即した体験活動や討議等を取り入れ、自立を促している。また、メンタルカウンセラーの資格を有し、子どものみならず、それを支える保護者の相談へも丁寧に対応しており、不登校や進学など教育に関する経験と知見を有している。	・学習支援の方法 ・学校との連携方法
3	中村　紫乃	特定非営利活動法人しののめフリースクール 理事長	公認心理師、臨床心理士の資格を有し、鹿児島市だけでなく熊毛地区で保護者を対象とした不登校・引きこもり研修会や発達相談会、保護者や児童生徒を対象とした相談会を定期的に開催している。支援内容として、居場所づくり、訪問支援、家族支援に関して県内外で講演や研修等行っている。	・保護者支援について ・子ども・大人の心理面のサポートについて
4	種子田　璃紗	一般社団法人ＡＲＵ 代表理事	県内３か所の居場所（あさごはん食堂とみんなの居場所shigetomi、ＮＰＯ法人グッジョブサポート、一般社団法人ＡＲＵ）の継続的な運営に携わっている。また、子ども・若者への相談支援活動等に関する知見を有し、こどもの居場所や不登校、ひきこもり等に関する講演等を行っている。	・地域資源を活かした居場所づくり ・こども食堂を活かした子ども・若者支援
5	馬場　里美	特定非営利活動法人虹花 理事長	保育士として培った子どもや家庭への支援経験を活かし、地域資源の活用をしながら、地域に４か所の居場所（放課後デイサービス「カスミソウ」、放課後児童クラブ「ガーベラ」、子どもと地域の居場所「ローズ」、子ども食堂「フリージア」）の他に、子育てサークル「プッチランド」、ベーカリー＆カフェ「ミモザ」、SDGS活動「ポピー」といった事業運営に携わっている。	・地域資源を活かした居場所づくり ・地域における関係機関との連携について
6	大脇　治樹	特定非営利活動法人子育てふれあいグループ自然花 理事長	親子で一緒に取り組む体験活動を柱に相談事業、不登校対応、子育てサロン等、親子に関わる子育て支援に取り組んでいる。また、枕崎市内の小中学校、教育支援センターと連携した取組など、教育関係との連携を踏まえた居場所の運営に関する経験と知見を有している。	・自然を活用した居場所づくり ・親子に関わる子育て支援
7	村岡　伸祥	特定非営利活動法人こんぱす 理事長	子どもの成長発達段階に応じた支援や、保護者や支援者向けに発達障害の子どもの特性から不登校や行き渋りなどを含む生活移行支援の内容を考える研修会の開催実績がある。大学講師としても教鞭を執り、個々に応じた居場所の運営に関する経験と知見を有している。	・子ども一人一人に応じたオーダーメードの支援について ・子育て支援 ・発達障害の子どもへの指導・支援
8	徳石　誠	特定非営利活動法人こんぱす 児童支援員	学校に行きづらい子どもたちの支援を行っており、その取組について講話等も行っている。また、市町村教育委員会、校長の経歴をもち、教育関係の知見も豊富であることから教育行政や学校現場の状況を踏まえた支援等に関する経験と知見を有している。	・行政，学校，支援団体，民間企業を巻き込んだ支援ネットワークづくり ・子育て支援
9	藤原　奈美	一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会 理事	困難を抱えている子ども・若者自立支援の分野で経験と知見が豊富であること、県内の様々な地域において、子ども・若者自立支援に関わる関係者に対して助言等を行っている。	・子ども・若者の自立支援について ・子若センターとの連携について ・精神保健福祉分野に関すること